

・移住交流支援センターだより・



NPO 法人
グリーンバレー
の伊藤が
お届けします。
お問合せ
☎676-1177
IP : 2028

路さんを
やっつい
たことも
あり、四
国にはご
縁を感じ

すみはじめ住宅「西分の家」のご紹介①

8月より入居が始まった西分の家の特徴を、数回に分けてご紹介いたします。さっそく今号は、「すみはじめ住宅」という名前について。

西分の家は、転入希望者向けのシェアハウスとして改修され、契約期間が3カ月から1年半までという入居条件があります。つまり数週間といった短期利用ではなく、賃貸物件として貸し出されています。空き家の場合、すぐに住める状態の家はなかなか見つからず、住む前に改修が必要なのがほとんどです。神山で仕事や生活がうまくいくのか不安な中、改修に踏み出すのは勇気がいらします。神山に移り住みたい人が、まず住

みはじめることができる家、そして住みながら自分たちが住む家を探せる場所、それが「すみはじめ住宅」なのです。

今月のインタビュー

下分東稲原「西内商事」の一角に、神山のカバン屋「鈴木カバン制作室」の工房兼店舗がオープンしました。代表の鈴木さんに神山で起業に至った思いを伺いました。

〈移住のきっかけ〉

カバン屋を起業するために移住先を探している中、知り合いから神山塾を紹介され、昨年9月から第8期神山塾に参加、起業への準備期間に利用しました。昔お遍

〈ものづくり遍歴〉

ています。もともとは大道具として、テレビ局の番組セットやイベント舞台の設営の仕事をしていました。大道具はものづくりの楽しさを教えてくれました



のカバンに仕上げます。週初めに素材を渡して、できたパーツをその週末に各家庭まで引き取りに回るので、実は高齢者の見守り事業も兼ねています。また、素材のひとつに獣害対策でとれた鹿革を利用しています。

徳島県産のものづくりにこだわるのはもちろん、状態の良い鹿革を買い取り、製品にすることで、猟師の担い手不足の解消にも貢献できたらと思います。ゆくゆくはカバン作りを産業として、神山に根付かせていくことが目標です。

〈今後の抱負〉

当面は町内での鹿革の調達ルートを開拓しつつ、パーツ作りを手伝ってくれる地域の方を引き続き募集しています。そして何より、自分たちの取組みをより多くの人に伝えていけたらと思います。

〈鈴木カバン制作室について〉

鈴木カバン制作室では、私ひとりがかばんを作るのではなく、裁縫が得意な神山の方たちに、ポケットの折り込みや取っ手などのパーツ作りを依頼し、それを工房で1つ

新規移住
相談件数
6月…6件
7月…6件



すずき 里陽 静岡県出身
鈴木 僚 静岡県出身
下分東稲原在住



鈴木カバン制作室
下分東稲原229(西内商事さん裏)
お問合せ：050-2024-2173
店舗営業：火・木・土・日 13時~18時